

計 算 調 書

No 1

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
上堰練合沢排水門						
工場製作工						
工場製作工(小型水門)	令和7年度 土地改良工事 積算基準(施設機械)P75 より	本地区の2つの水門は『小型水門』とし、積算する				
[機器単体費]						
減速機[水門設備]	巻上モーター減速機		2.0	≒	2	台 見積単価
自動システム操作盤 [水門設備]	H1700×W822×D300 同等品以上		1.0	≒	1	面 —"—
ソーラーパネル	GT-78 同等品以上		4.0	≒	4	枚 —"—
水位測定装置[水門設備]	レーダー式		1.0	≒	1	式 —"—
監視カメラ	屋外回転式、LED照明付き		1.0	≒	1	式 —"—
水門開閉器[水門設備]	ベベルギア式(余水吐水門)		1.0	≒	1	台 —"—
スピンドル及びカバー [水門設備]	余水吐水門		1.0	≒	1	式 —"—
巻上機台座取付部材 [水門設備]	余水吐水門		1.0	≒	1	式 —"—
水門開閉器[水門設備]	ベベルギア式(本流水門)		1.0	≒	1	台 —"—
スピンドル及びカバー [水門設備]	本流水門		1.0	≒	1	式 —"—
巻上機台座取付部材 [水門設備]	本流水門		1.0	≒	1	式 —"—

計 算 調 書							
レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考	
据付工							
[輸送費]							
据付輸送費			1.0	≒	1	式	見積単価
[材料費]							
減速機取付金具類			2.0	≒	2	箇所	見積単価
水位計用鋼管ポール	SUS ベースプレート式		1.0	≒	1	本	〃
電気配線材料費			1.0	≒	1	式	〃
試運転調整費			1.0	≒	1	式	〃
[労務費]							
自動開閉装置据付工			1.0	≒	1	式	
巻上機取付工(本流水門)			1.0	≒	1	箇所	
巻上機取付工(余水吐水門)			1.0	≒	1	箇所	
既設水門設備撤去費	P100 表-3・1・31より	水門設備据付工数×5%×据付工(人)	1.0	≒	1.0	人	
		R7土地改良積算基準 施設機械P93より据付工数y $y=3.49x+8.50=3.49 \times 0.46+8.50=10.11$					
		$x(\text{平均扉体面積})=(0.6 \times 0.67+0.7 \times 0.73)/2=0.46$					
		$Y=10.11 \times 0.05=0.506 \approx 0.51$ 0.51×2門=1.02人					

No 3

[illegible]

グループ単価計算調書

No 1

[illegible]

グループ単価計算調書

No 2

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数 量	総 量	単 位	備 考
G1020	巻上機取付工(本流水門)		1.0	≒ 1	箇所	
機械設備据付工		R7土地改良積算基準 施設機械P93より据付工数 $Y=y \times K1 \times Kn$	1.952	≒ 1.95	人	
普通作業員		y(標準据付工数 小型水門プレートゲート構造スライダゲート三方水密) =3.49x+8.50=3.49×0.511+8.50=10.283	0.488	≒ 0.49	人	
		x(扉体面積)=0.73×0.7=0.511				
		K1(区分別工数比率 開閉装置)=0.25,Kn(据付補正 据付数2)=0.95				
		$Y=10.283 \times 0.25 \times 0.95=2.44$				
		機械設備据付工構成割合は80% $2.44 \times 0.8=1.95$ 人				
		普通作業員構成割合は20% $2.44 \times 0.2=0.488$ 人				
据付材料費		[P92 表-3・1・17参照]	10.50	≒ 10.50	%	
据付補助材料費		[P92 表-3・1・18参照]	1.50	≒ 1.50	%	

グループ単価計算調書

No 3

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G1030	巻上機取付工(余水吐水門)		1.0	≡ 1	箇所	
機械設備据付工		R7土地改良積算基準 施設機械P93より据付工数 $Y=y \times K1 \times Kn$	1.88	≡ 1.88	人	
普通作業員		y(標準据付工数 小型水門プレートゲート構造スライダゲート三方水密) =3.49x+8.50=3.49×0.402+8.50=9.903	0.47	≡ 0.47	人	
		x(扉体面積)=0.67×0.6=0.402				
		K1(区分別工数比率 開閉装置)=0.25,Kn(据付補正 据付数2)=0.95				
		$Y=9.903 \times 0.25 \times 0.95=2.35$				
		機械設備据付工構成割合は80% $2.35 \times 0.8=1.88$ 人				
		普通作業員構成割合は20% $2.35 \times 0.2=0.47$ 人				
据付材料費		[P92 表-3・1・17参照]	10.50	≡ 10.50	%	
据付補助材料費		[P92 表-3・1・18参照]	1.50	≡ 1.50	%	

グループ単価計算調書

No 4

[illegible]